

噂の現場レポート

特別編

Special thanks to 株式会社セーフティライフ phone/052221-8684 http://www.safety-1.com



読者プレゼントに当選したYさん ガレージの完成とともに商品を納品。

本誌50号の読者プレゼントでEG WAYOUTに当選したのが今回のガレージオーナー、大分県在住のYさん。母屋に別棟ガレージとスタジオを増設し、ガレージはキッチン、リビングから眺められるように設計。今回はそのガレージが完成したので引き渡しに行ってきた。

photo/ Kouji NAKAYAMA (中山 幸二)
text/ Jun ISHIHARA (石原 淳)

今から2年前に発売したGarageLifeのプレゼントにガレージの排気システム“EG WAYOUT”を出した。多くの応募のなかから大分県在住のYさんに当選が決まった。それから2年、ガレージの増築工事を終えたため設置を兼ねて、撮影に伺った。Yさんは、およそ8年前に分譲住宅を購入。スタジオとガレージの増設の依頼を「ミサワホームインク九州 大分店」に依頼し2年かけて念願のお気に入りガレージが完成した。

ガレージは愛車が2台入るスペースを希望。しかもリビングから見ることができるようにと母屋からの距離感も増設の条件となったため、当初から設置していたカーポートを移設することからスタート。また、かつては1500人のアルファ・ロメオのクラブの会長を務めた奥さまがデザインに熱心だったため、ガレージを建てたときのリビング、キッチンからの見せ方



ガンメタリックのモーターにGarageLifeとEG WAYOUTのダブルネームが入られた。



「セーフティライフ」最寄川社長と石原が当選者のY邸に伺い、設置を撮影。しっさいに当選者にお礼としてプレゼントを贈りできたことは収穫である。

今回はすでにパーツをY邸に送っており、ガレージで設置工事を行った。非常にシンプルであるが、モーターは重量があるので専門業者の技術が必要だ。



シングルマフラー用のアタッチメントを用えた今回のシステム。モーターが当選となり、アタッチメントはYさんに購入していただいた。





クルマを見ながら食事をしたかったY夫妻は、リビング横にガレージを増設。「テクニカル東新」製リフトが収まるガレージ、リフトにあるクルマはアルファ・ロメオ・レンジに出場するためのレースカー、アルファ・ロメオ145。下には92年式RZというラインナップだ。

を研究。今回のY邸のテーマは、ガレージ・クルマをいじる場所ではなく、クルマを魅せる空間がコンセプトになっている。ただし、当初からリフトを入れる計画はなかったが、ガレージとスタジオの増築の計画を進めていくうちに、昔から欲しかったアルファ・ロメオザガートRZの購入を決意。なんとガレージには3台納めるといったことになった。

そのときに必要となったのがリフトだった。あらゆるリフトメーカーを分析した結果、「テクニカル東新」のホームパーク24が片持ちのリフトであり、柱がなくすっきりとするのが最大のメリットと判明。建築会社にリフトを指定し、クルマの高さからガレージの高さを再算出して設計は変更することに。その結果、ガレージには3台のアルファ・ロメオを収めることができた。さらにデザインにはこだわり、壁面はシンプルなホワイトの有孔板12mmを導入。これは、防音の対策として、静岡県にある「幸昭」の協力により施されたもの。その他、アルファ・ロメオが奏でるマフラーのサウンドにもこだわった。

また、今回同時に増設したスタジオにも最大の工夫をしている。幼年時代から音楽に携わってきた2人は、大学時代のバンド活動で意気投合。趣味の延長としてご主人がドラム、奥さまがギターとして活動範囲を広げるとご夫妻。2人にとっては本格的なスタジオの建設が必要だった。そこでご主人がコンタクトをしたのが、先にも述べた「幸昭」の技術だ。同社



防音のための二重扉には、今まで所有したことがあるクルマたちのダイキャストモデルを多数所有。コレクションボードの一番上にはイタリア本国より運られてきた75Sevulazione25周年イベントの記念品の飾が飾られている。

噂の現場レポート



アルファ・ロメオRZの1992年発売時のプレスキットを入手し、ミニモデルとして製作。ガレージ横にディスプレイ。そう、Y夫妻にとってはガレージは美術館といっしょなのだ。



床面はベタ基礎施工に、床、壁は強動が伝わらないように3mm難燃技術を導入。壁面にはプラスターボード、ロウケール、ソフトカーン、音シート/音バットのほか空気層を取り入れ、防音するなど9層における対策が施された。幸昭(<http://www.bouon-kosho.com/>)の技術が投入された。



レコーディングスタジオとして機能できる設備もスタジオ横に用意された。本格的なミキサーマシンたちがセットされる。



前方道路の左右を確認するためのミラーをシャッター上部にマグネットで設置。ドライバーズシートから見やすいように角度の調整が可能。



あらかじめリフトを購入することを前提にしたため、200V 単相から家庭用の3相に交換するインバータを用意。

P

PLANNING DATA

Y 邸
家族構成 夫婦
ガレージ面積 36.74㎡
竣工 2013年9月
愛車 1987 Alfa Romeo 75
Evoluzione
1992 Alfa Romeo RZ
1998 Alfa Romeo145
2003 Alfa Romeo147
2009 Alfa Romeo159

O

OWNER'S CHECK

■一番気にしているところは？
3台収納できて、リビングから美しく仕上がったガレージを眺めることができること。
■ちょっと失敗したところは？
リフトの埋込位置をあと20cm、奥にしておけばイデアルサイズの整備ができたこと。
■次の夢はなんですか？
二人でクルマの整備がガレージでできるように、整備を覚えていきたいですね。

はカラオケボックスなどの防音を手掛け、40年の歴史を誇る国内でも有数の会社。最大110dbを超えるドラムから発する大音量(ジェット機のエンジン相当)の音対策をするため、住宅メーカーと専門業者がコラボレートすることになったのだ。

そして2013年11月、当選した[EG WAYOUT]が「セーフティライフ」長谷川社長の手によって設置となった。事前に打合せをしていたモーターを壁面に設置。ホースをバンドでつないで固定。シングルマフラー用のアダプターを設置して完成となった。Yさんいわく、「想像していたより音も静かで、ガレージのなかでエンジンをかけることができるようになった」と喜んでる様子。プレゼントの当選者の現場を取材させていただいたのが、今回のレポートだ。



文化シャッター製アルミシャッター御前様の内側に描かれたのは、アルファ・ロメオのシンボルマーク。カッティングシートで表裏された。

日本特殊塗料が発売するエポキシ系の塗料をガレージに施工。ホコリが出ず、きれいなガレージ内はまるで部屋の延長のよう。



コレクションカーがガレージに、通勤車をカーポートに使い分ける。ガレージにはアルファ・ロメオ75Evoluzione/RZ/145。カーポートの下には奥さまの愛車、2009年式アルファ・ロメオ159。ご主人の2003年式アルファ・ロメオ147が停まる。



UNDER CONSTRUCTION



8年前に分譲した住宅を購入したY夫妻。カーポートが中央にあったが、大きな庭がありガレージを建てるスペースを狭めていた。



2012年12月、カーポートを移設するために撤去する工事がスタート。全館のガレージ工事がスタートする。



2013年1月下旬、敷地面積いっぱいにはガレージを建てるための基礎工事がスタート。家人への防音対策も重要だったので、防音対策をしたガレージを鉄骨で建てる。



同時にレコーディングスタジオも完成したかったため同時に基礎工事もスタート。これもスタジオ建設にアイデアを出していたいた車屋の技術が大きい。



2013年1月31日、鉄骨とクレーン車がやってきて骨組みが組み立てられていく。なんと1日の作業でここまで組みあがってしまった。



2013年2月23日、骨組みが組み立て1か月後は、木造1階がけによりかなりガレージの躯体ができてくる。まだ内装工事には至っていない。



約3か月の内装工事を終えて、カーが外されガレージの様子が見えた。この日は7月中旬、母屋に合わせてデザインされたサイディングが張られた。



2013年7月11日、広島県にある「シーエス」田口さんの手により、造作式のリフトを設置。中古でありながらもきちんとレストアが施されたもので安心だ。



2013年7月27日、「タクニカル美術」製ホームパーク24の片持ちリフトが導入される。クレーンにより上げ、平行移動で設置している様子が見える。



2013年10月19日、看板・サイン制作会社「アドビード」に依頼して母屋のシャッターにもアルファ・ロメオのシンボルを描いてもらう。



10月上旬、アルファ・ロメオのなかでも最少価格の高い、アルファ・ロメオ・ザータRZが納車。記念すべき日もあった。



リフトが2台、左右に設置されたことで、これらも整備を兼ねながらもガレージライフを楽しんでいきたいと考えている。

C

COMMENT FROM A BUILDER

ミサホームイング九州 大分店
釘宮賢治さん



今回、工事を担当させていただいて住宅地に「スタジオ+ガレージ」というかなり複雑な案件でしたが、いろんな方の支援、協力により一大プロジェクトを完成させた今は達成感に満ちています。実際、クルマがガレージに入庫した時は、任せて、そういえば、「仕事から帰って、リビングでお酒を飲みながらゆっくり車が見られるようにしたい」ということを思い出し、喜びを高たす事ができ、まさにいつも拝見していた雑誌「ガレージライフ」がまさに現実となったんだと実感しています。

大分県大分市賀東3053
phone:097-548-7491
http://www.kyushu.misawa-homeing.co.jp/

噂の現場レポート

